

オーディオ・アナライザ

PROKIT 30 と PROKIT CI



Prokit 30 と Prokit CI (ブラックボックス版)

- DSP30かDSPCIW デジタル リアルタイムアナライザ
- RS-232インターフェース+ソフトウェア
- TEF04 測定マイクロフォン
- PN3B サイン波付きピンクノイズジェネレータ
- OPT RT60
- 48 不揮発性メモリ

NEW

30MP マイクロプロセッサベース リアルタイムアナライザ



特長

- 1, 2, 3dB スケール
- 6 不揮発性メモリ
- 大型LEDディスプレイ、フラット、A&CウェイトングによるSPL
- オプションRS-232ポート; コンピュータファイルとレポートプリント用
- バランスド(平衡)ラインとMic入力
- MK8Aマイクロフォン付き

NEW

STI、CISの測定

音声明瞭度 (SPEECH INTELLIGIBILITY)

DSP30+OPT STICisで音声明瞭度を正確に測定。

TNOラボ(オランダ)により開発されたSTI-PAテスト信号を使うことで、DSP30はIEC規格のSTI、CISを測定します。

詳細はホワイトペーパー

“Understanding Speech Intelligibility and the Fire Alarm Code” Kenneth Jacob, Chief Engineer, Bose® Professional Systems を参照願います。

マイクroフォン



- MK8 無指向性エレクトレット・マイクロフォン
30M8、SPL120RM、SPL120L、SLC1用
- MK8A 無指向性エレクトレット・マイクロフォン
DSP30、DSPCI、30MP用
- MK8C カージオイド・エレクトレット・マイクロ
フォン、12-48Vファントム電源
- TEF4 ステンレス無指向性測定マイクロフォン
PROKITおよびTEF用
- MK160 エレクトレット・マイクロフォン
DSP30A用(オートサウンド用160dB)
- CBM1 バウンダリ・マイクロフォン



音声明瞭度 (SPEECH INTELLIGIBILITY)



DSP2B/DSP2BP - DSP2B

音声明瞭度専用メータはSPL(音圧レベル)と音声明瞭度指数を測定します。



DSP30B/DSP30BP/ DSPCIB/BP-

スタンドアローン、フル機能のオーディオ・スペクトラム・アナライザはSPL(音圧レベル)と音声明瞭度指数を測定します。



ポータブルSTI-PAテストトーンジェネレータ
TALKBOX

信号ジェネレータ: 音声分析システムの不可欠な部分、DSP2B/BP、DSP30B/BPあるいはDSPCIB/BPと一緒に使用

ハンドヘルド 10バンド オーディオ・スペクトラムアナライザ

ISOセンタ上に32Hz~16kHzまでのオクターブ・バンド(10バンド)。サウンドのコントロールと分析が重要な場所で!

ASA10-B: 10バンドアナライザ、A&CウェイトでのSPLレベル測定が可能。ASA10-Bは小型でバッテリー動作が可能です。持ち運び、使い方が簡単なオーディオ・スペクトラムアナライザです。ピンクノイズは含まれません。

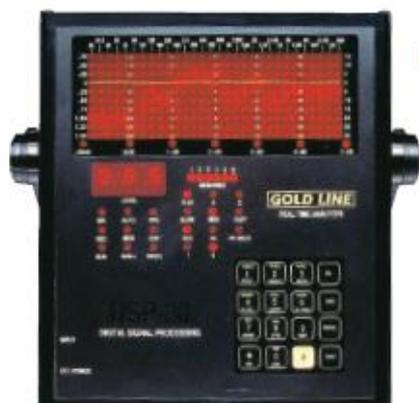


FD-23 フィードバック・ディテクタ



バッテリー動作の1/3オクターブフィルタ付き、フィードバック・ディテクタ

オーディオ・スペクトラムアナライザ



DSP30



DSPCIW

DSP30タイプのアナライザは広いダイナミックレンジで測定する場合にも確度を維持できるソフトウェア制御のフィルタを装備しています。アナライザは31dB から123dB までのレスポンスレベルを測定し、オプションのマイクロフォンで160dBに校正できます。

DSPCIWはDSP30の“ブラック・ボックス版”です。両方のアナライザはまったく同じソフトウェアとプラットフォームを共有しています。違いはキーボードとディスプレイで、DSP30はコンピュータと独立して動作します。

DSP30とDSPCIWアナライザによる標準機能

- RS232ポート(RS232-USBアダプタケーブルを含む)はIBMコンパチブルPCとの双方向通信を提供し、Virtual PC付Macintoshと通信できます。
- マルチプロット表示。同時に6種のレスポンスカーブを表示
- ディスプレイによる制限を受けない85dBウインドウ
- リーディングをノーマライズし、ランダム変化のためのピンクノイズ補正を安定化する時間平均。
- スケール、1/4オクターブから5dB ステップ
- マイクロフォン: 低インピーダンス(600Ω)コンデンサタイプが供給されます。
- フィルタ: キーボード選択による、ANSI標準(トリプル・チューン)あるいはカスタムのノッチフィルタ。
- メモリ: 60不揮発性メモリ/オプション
- SPL & 重み付け曲線: フラット、A、Cまたはユーザ設計
- サム・モード: スペクトラム・レスポンスの読みは“合計”あるいは“平均化”できます。
- 差引きモード: メモリは他のメモリで割算できます。

何時でもオプションの拡張機能が追加できます。

- OPT STA: スピーカ・タイミング・アナライザ(RT60とPN3Bが必要)ソフトウェア、タイミングスピーカのための電氣的なディレイを設定できる。
- OPT DAS: THDを測定する歪み分析システム
- OPT RT60: RT60 測定(含むGate、Port、Cable)
- OPT DOSE: ドシメータ測定+オクターブ・バンドSPL測定ができるソフトウェア
- OPT 106: 1/6オクターブ分析
- OPT 112: 1/12オクターブ分析、25Hz- 799Hz
- OPT NC: ノイズ測定
- OPT IMP: インピーダンス測定(サイン波ソースが必要)

OPT STICis -DSP30とDSPCIWにて音声明瞭度測定

音声明瞭度オプションはIEC60849による測定をするのに必要なソフトウェアとSTIテスト信号を用意します。

TALKBOX: テストCDと必要なソフトウェア。ポータブルCDプレーヤ+マイクロフォンホルダ(音声退去とビルディングコントロール室へのSTICis信号の挿入)

スタンド・アローンの残響メータ

Model GL60 残響時間メータ

マイクロフォン内蔵のスタンドアローン型RT60 メータ

周波数: 6周波数: 125,250,500,1000,2000,4000Hz

ディスプレイ: 読取りは7セグメントLCD表示、0.1~10秒まで1/100秒単位

電源: 2 x 9Vバッテリー

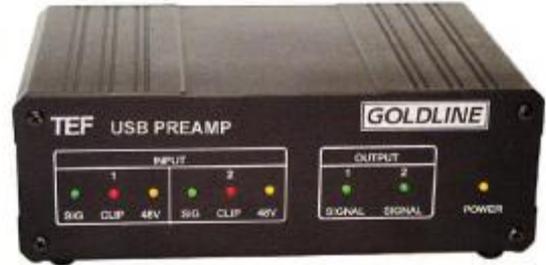


より強力に
より小型に

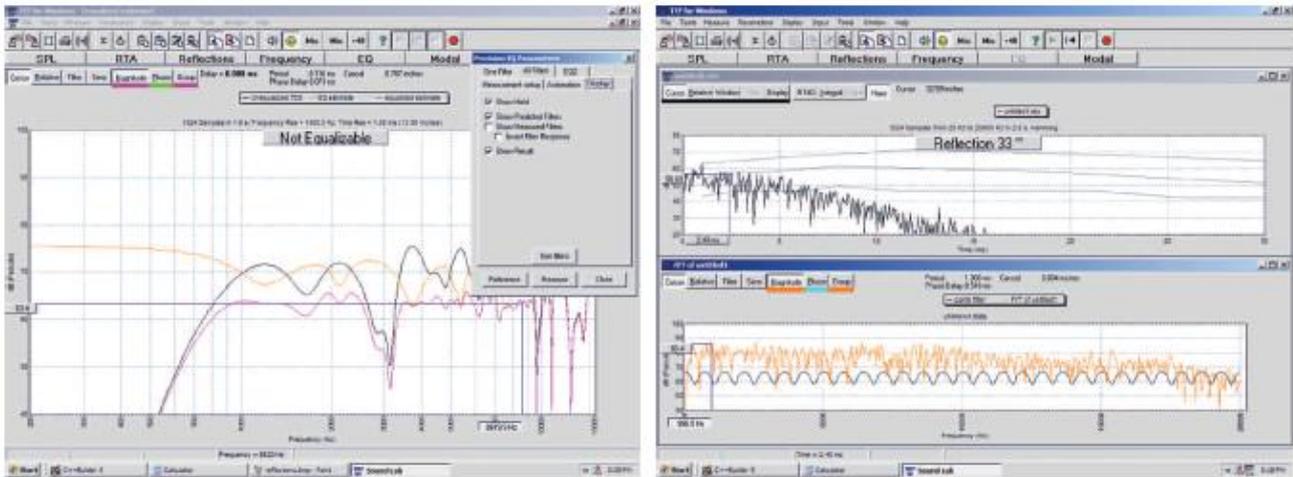
EZTUNE

TEF25 アナライザ・システム

TEF25 USBプリアンプ、サウンド・ラボ社製ソフトウェアとPCを組み合わせるだけで、TEF測定を実行できます。



小さな音響空間における共通の問題をすばやくチェックする必要は？ サラウンド・サウンドのための校正をする必要は？ EZTUNEは数種類のTEFプログラムの特長を組み合わせ、実際のタスクをスピードアップするために自動化のレイアを付け加えました。



TEF EZTUNEの機能

1. Set Reference Levels(リファレンス・レベル設定)

大きなSPLディスプレイは、CウェイテッドSPLを示します。背景は青からスタートし、75dBのホームシアターのリファレンス・レベルに近づくにつれてグリーンへ変化し、76dB SPLを越すと赤に変わります。

2. Measure Real Time Analysis(リアルタイム分析の測定)

パワフルなRTAモジュールにより、分解能を1オクターブから1/24オクターブまで選択できます。ピンクノイズで最高の確度を得るためには、スピードを遅くするか、THX推奨の20秒間加算平均を使います。オクターブ・バンド・モードでNC値が表示されます。

3. Measure Reflections(反射の測定)

EZTuneは26usまでのイベントを分解できるTDを採用しています。Reflectionボタンをクリックすると、自動的に直接エネルギーの到着時間を探し、どのピークが最大反射であるかを表示します。そのパスの長さに沿ってそれぞれの反射の到着時間を示すグラフを読むことは簡単です。オーバーレイ・モードにより、音響的な処置が反射をうまく吸収したかどうかを簡単に見ることが出来ます。

4. Measure Frequency Response(周波数応答の測定)

Frequency Responseボタンを押すと、システムは自動的に室内のマイク位置を特定し、周波数応答、位相と特定の反射により生じたコムフィルタを計算します。

5. Predict Optional EQ.(最適EQの予測)

TEF Precision Equalizationソフトウェア(PEQ)のパワフルな機能をEZTuneのオートメーションと組み合わせることで、高速で、簡単にサウンドシステムを測定できる方法を開発しました。ディスプレイはフィルタの周波数応答と中心周波数のリスト、フィルタQと各々の周波数でのカットまたはブーストの推奨量を表示します。



株式会社 東陽テクニカ マルチメディア計測部

〒103-8284 東京都中央区八重洲 1-1-6 (03)3279-0771 FAX(03)3246-0645 <http://www.toyo.co.jp> mail:Audio@toyo.co.jp

電子技術センター 〒103-8284 東京都中央区八重洲1-1-6 (03)3279-0771 FAX(03)3246-0645

大阪支店 〒550-0002 大阪市西区江戸堀3-1-31 (06)6443-9771 FAX(06)6443-9761

名古屋営業所 〒465-0095 名古屋市中東区高社1-263 (052)772-2971 FAX(052)776-2559

茨城営業所 〒305-0032 茨城県つくば市竹園3-21-2 (0298)51-1366 FAX(0298)52-3421